

里仁第四

子曰、君子欲訥於言、
而敏於行。

し い 子曰わく、くんし げん とつ 君子は言に訥にして、
おこない びん ほつ 行に敏ならんことを欲す

(4-90)

< 子曰わく、君子は言に訥にして >

Q : 「子曰わく、君子は言に訥にして」とは何ですか。

A : (1) 「孔子が言った。学徳ともにすぐれた君子は、口下手ではあるが」の意。

(2) 「君子たる者は、口は不調法ぶちようほうで、訥弁でもいいが」の意。

(3) 「訥」とは、言葉の出るのが遅いこと。

< 行に敏ならんことを欲す >

Q : 「行に敏ならんことを欲す」とは何ですか。

A : (1) 「行動の実践には、すばやく対応しようと心がけるものだ」の意。

(2) 「実行は敏活でありたいな」の意。

(3) 「敏」とは、事をすばやく行うこと。

(4) 訥弁と敏速はその天性の気質に出る者であろうが、言の軽い者は訥を志して言葉を慎み、行いの遅鈍な者は敏を以てこれを励ますことは、自分の心がけ一つで出来ることだ。君子の学はこれを以て貴しとする。

2011年6月16日林明夫記